

栗田工業株式会社 経営説明会

(証券コード: 6370)

- 1 CK-17 (Competitive Kurita 2017) 計画最終年度の方針
- 2 海外事業の拡大加速
- 3 最先端技術の獲得と新たな展開
- 4 サービス事業への取り組み強化
- 5 資本効率の向上
- 6 自己株式の取得と消却
- 7 超純水供給事業の売上高計画
- 8 超純水供給事業の主な案件
- 9 CSR活動の強化

基本方針

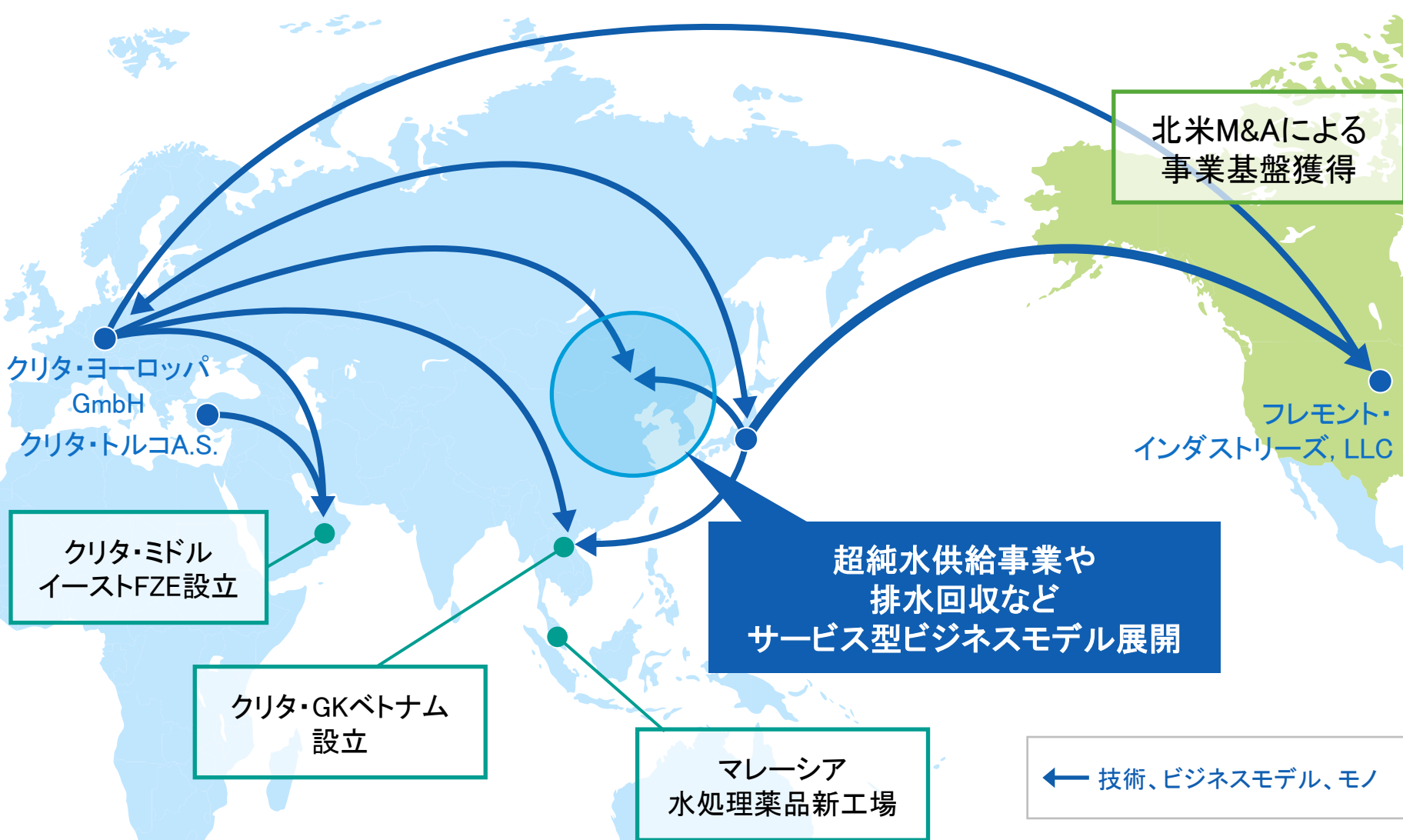
顧客に最良のソリューションを提供することにより
顧客親密性を高める

IT技術の
活用による
業務プロセスの
変革

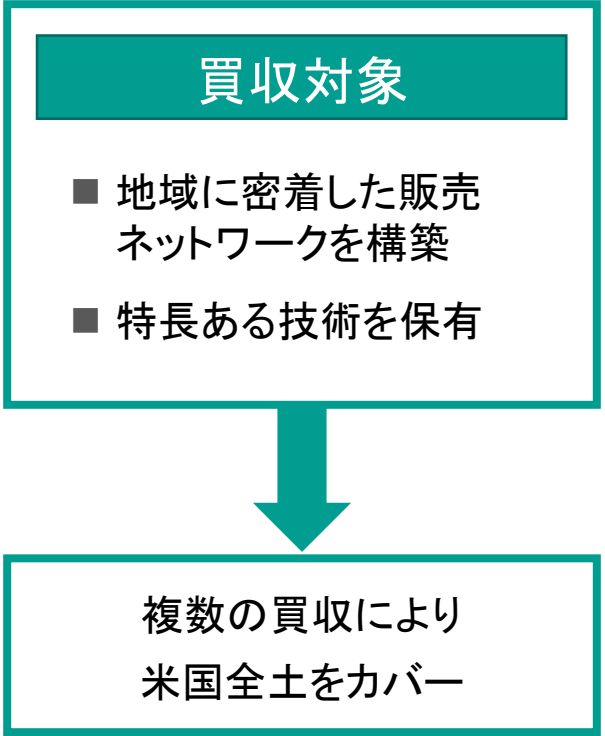
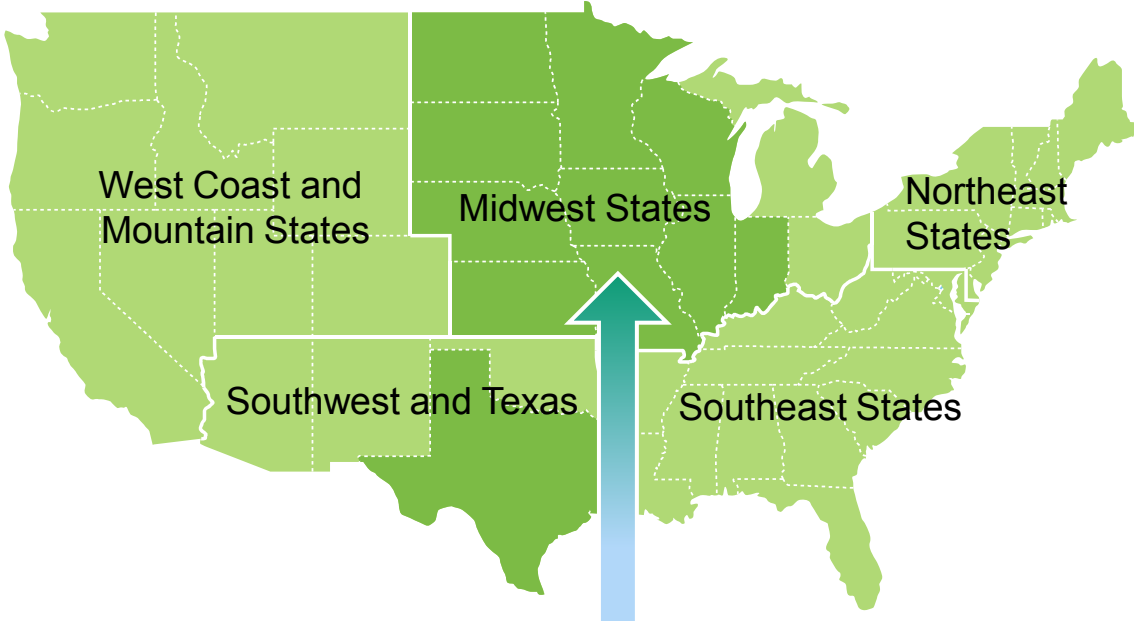
成長分野への
集中投資と
事業の再構築

CSR活動の
強化による
リスクの低減と
競争優位の獲得

2. 海外事業の拡大加速①



2. 海外事業の拡大加速②

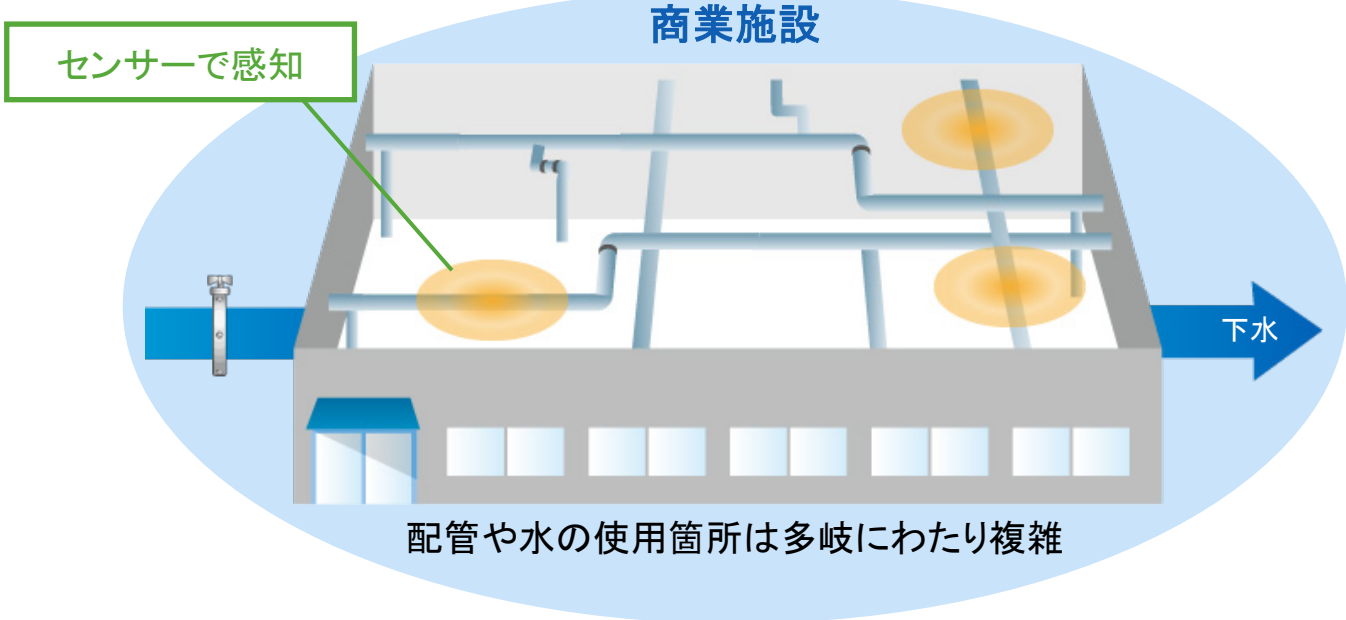


フレモント社の買収により獲得した事業基盤

商 品	顧 客
ボイラ薬品、冷却水薬品、排水処理薬品など	食品、病院、ビル空調など 2,000社

3. 最先端技術の獲得と新たな展開

APANA Inc. への出資



技術の優位性

- センサー技術
- 省電力データ通信技術
- 独自ロジックによるデータ解析技術

実績

大型商業施設の空調・調理・清掃・洗浄
における節水

↓

国内商業施設・民間工場への展開に期待

サービス型ビジネスモデルの拡大



排水回収サービス (CORR™システム)



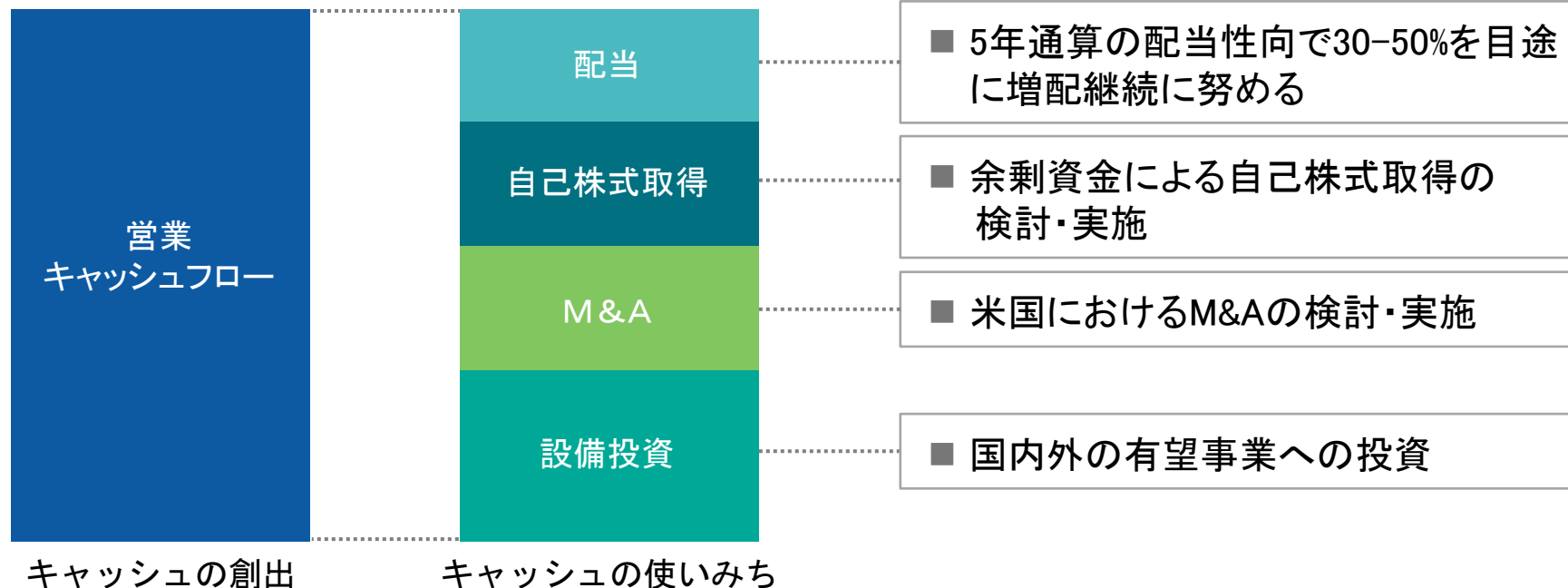
純水供給サービス (KWSS)

超純水供給事業



5. 資本効率の向上

キャッシュの使いみち(方針) : CK-17計画期間中



- 運転資金と予備的資金を確保したうえで、余剰資金と自己資本の増加抑制に努める。
- 株主資本コストを上回るROEの維持とさらなる向上を目指す。

6. 自己株式の取得と消却

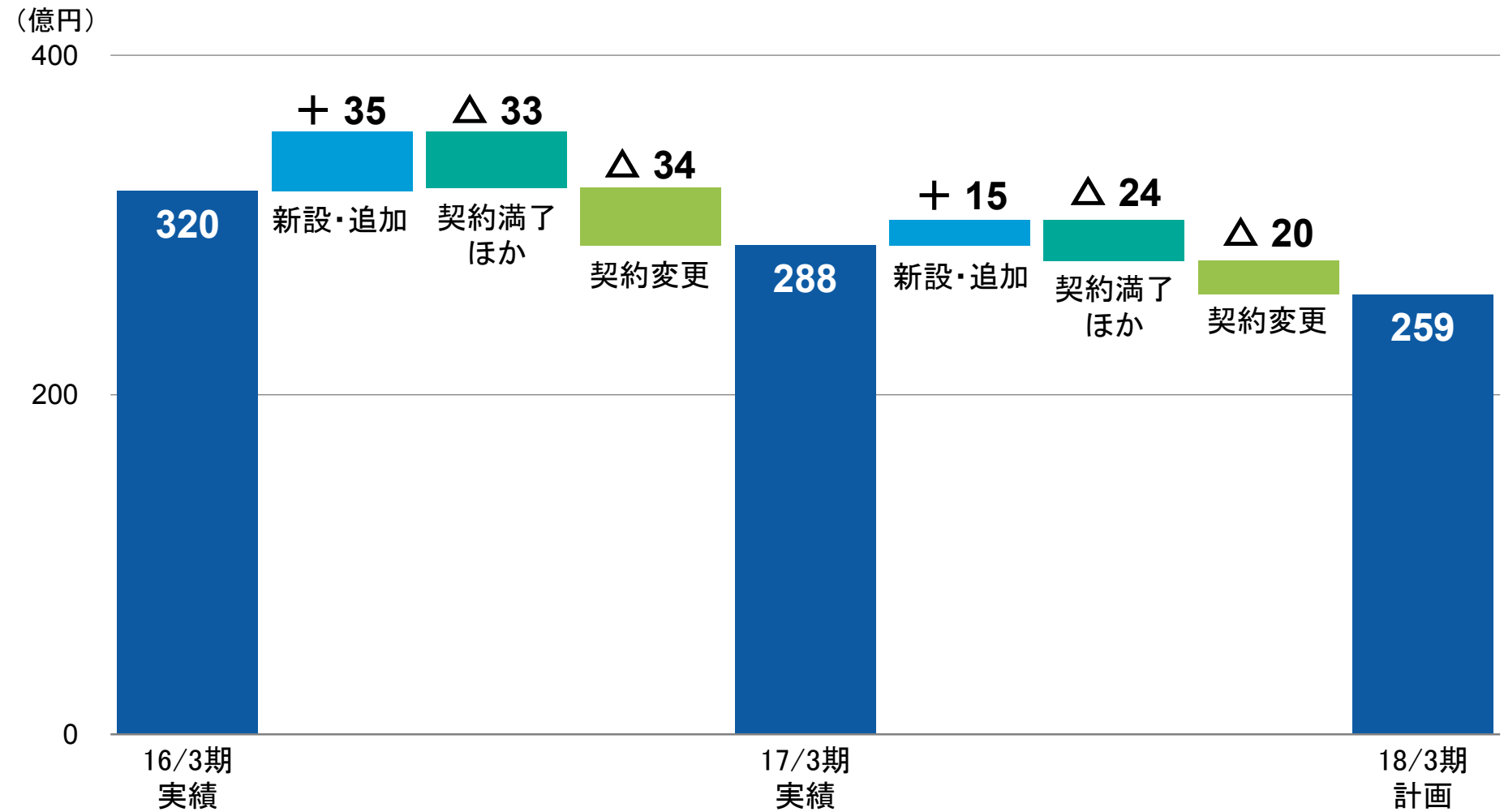
【取得予定】

取得株式総数	400万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 : 3.45%)
取得価格総額	100億円(上限)
取得期間	2017年3月2日～5月31日

【消却】

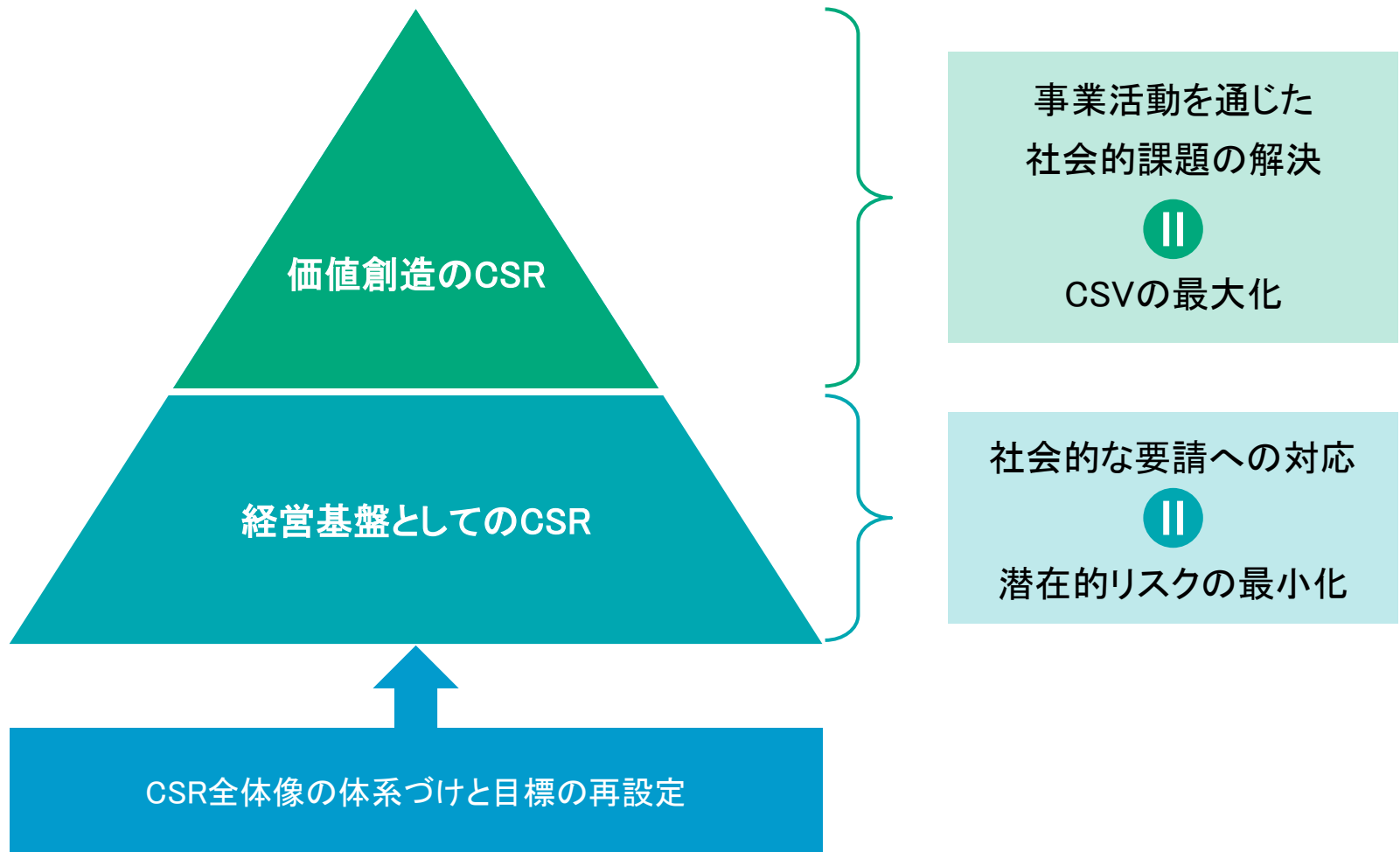
消却株式数	2,963,900株 (消却前発行済株式総数に対する割合 : 2.49%)
消却日	2017年4月6日
消却後発行済株式総数	116,200,694株

7. 超純水供給事業の売上高計画



9. CSR活動の強化

中長期的な企業価値の向上と競争優位性の獲得をめざす





- U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>
- M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。